



# OASE Operation Autonomy Support Engine

## クイックスタート

※本書では「Operation Autonomy Support Engine」を「OASE」として記載します。

Exastro Operation Autonomy Support Engine Version 1.3.1  
Exastro developer

# 目次

1. はじめに
  - 1.1 クイックスタートについて
  - 1.2 画面説明（ログイン画面）
  - 1.3 画面説明（Dashboard画面）
  - 1.4 画面説明（アクション設定画面）
  - 1.5 画面説明（トークン払い出し画面）
  - 1.6 画面説明（ディシジョンテーブル画面）
  - 1.7 画面説明（ルール画面）
  - 1.8 画面説明（リクエスト履歴画面）
  - 1.9 画面説明（アクション履歴画面）
2. シナリオ説明
  - 2.1 本書のシナリオ
3. 実行前準備
  - 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
  - 3.2 トークンの払い出し
  - 3.3 ディシジョンテーブルの作成
  - 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
  - 3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
  - 3.6 テストリクエスト
  - 3.7 プロダクション適用
4. 実行操作
  - 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信
  - 4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認
- A 付録  
サンプル1

# 1. はじめに



# 1.1 クイックスタートについて (1/2)

## 前提

OASEおよび以下の機能が導入済みであること

- ① OASEインストールについては以下を参照

- ・[<OASE docs 環境構築マニュアル -基本編->](#)
- ・[<OASE Learn -OASEを導入しよう オンラインインストール編->](#)

- ② メールドライバインストールについては以下を参照

- ・[<環境構築マニュアル -ドライバインストール編->](#)

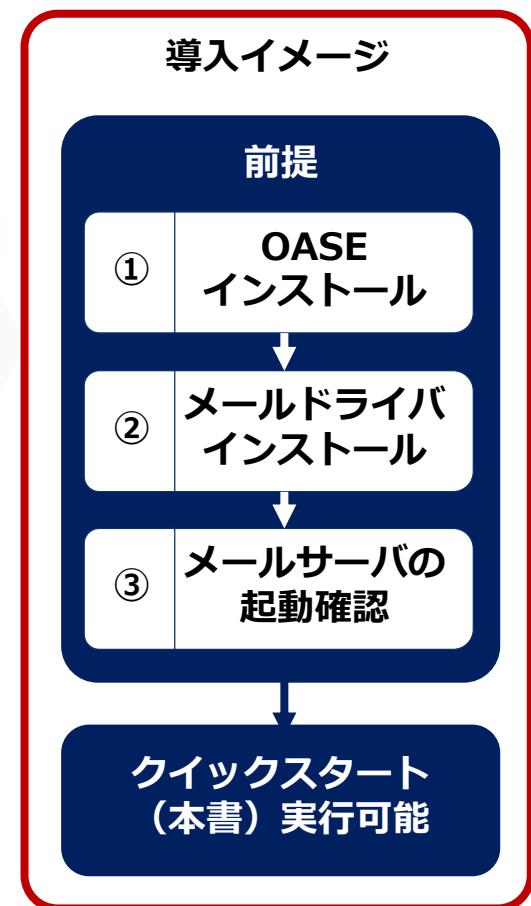
- ③ メールサーバが起動していること

- ・例) Postfix.serviceの起動を確認

```
# ps -ax | grep postfix
```

※起動していない場合は以下を実行

```
# systemctl start postfix
```



# 1.1 クイックスタートについて (2/2)

## 使用する機能について

- 本書ではOASEの以下機能（画面）を用いる（項番は以降のスライドと紐付く）

- Dashboard画面



項目番	画面名称	パンくずリスト
1.2	ログイン	
1.3	Dashboard	DashBoard
1.4	アクション設定	DashBoard > システム > アクション設定 > mail Driver ver1
1.5	トークン払い出し	DashBoard > ルール > トークン払い出し
1.6	ディシジョンテーブル	DashBoard > ルール > ディシジョンテーブル
1.7	ルール	DashBoard > ルール > ルール > ステージング適用ルール
		DashBoard > ルール > ルール > プロダクション適用ルール
1.8	リクエスト履歴	DashBoard > ルール > リクエスト履歴
1.9	アクション履歴	DashBoard > ルール > アクション履歴

# 1.2 画面説明\_ログイン

## OASEログイン

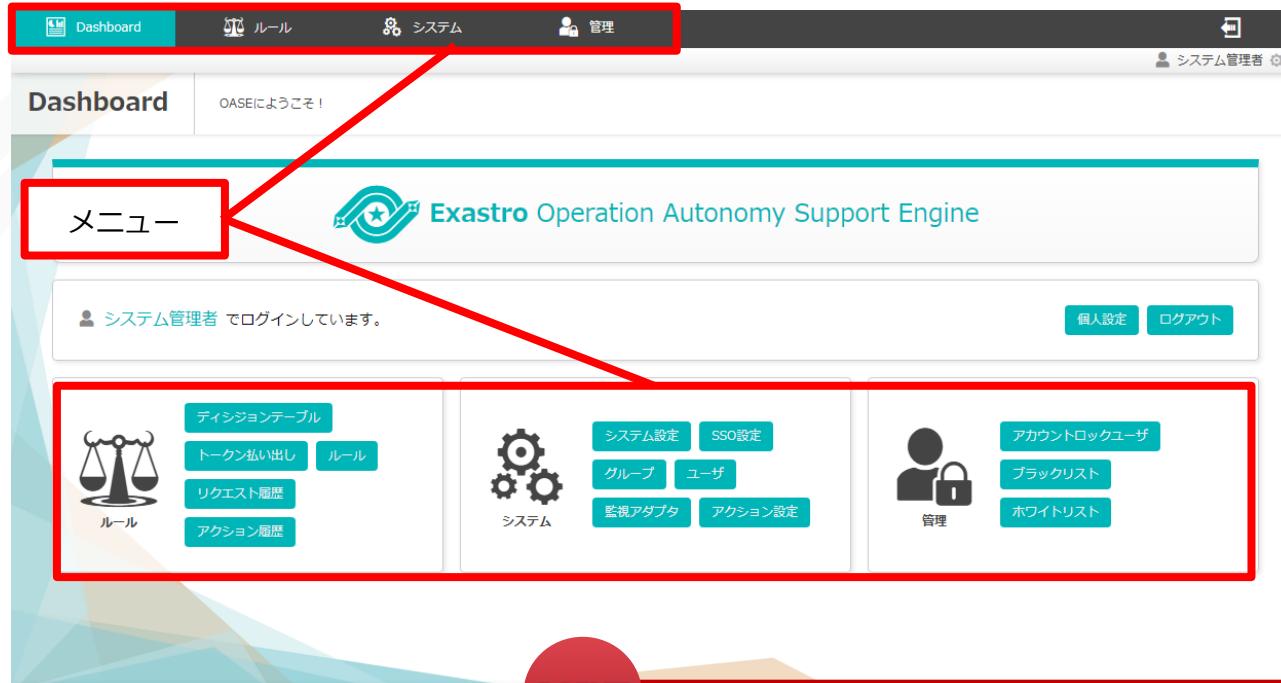
- OASE導入後、以下のURLへアクセスするとログイン画面が表示される  
[https://exastro-oase/oase\\_web/top/login](https://exastro-oase/oase_web/top/login)



# 1.3 画面説明\_DashBoard

## ■ 基本的なメニューの概要

- 「ルール」メニュー : ルール作成やアクション結果を管理
- 「システム」メニュー : OASE全般や各種設定・権限を管理
- 「管理」メニュー : セキュリティ関連を管理



POINT

各メニューの詳細はマニュアルを参照してください

# 1.4 画面説明\_アクション設定

## 機能説明

- ① OASEにインストール済のドライバ名
- ② アクション先として登録されている情報の一覧
- ③ インストール済のドライバにアクション先の情報を追加するボタン
- ④ メールテンプレートを作成するボタン

操作	名前	プロトコル	smtpサーバ	ポート	ユーザ名	最終更新者	最終更新日時
[Edit]	oasetest	smtp	0.0.0.0	25	sample@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:11
[Edit]	oasetest_A	smtp	0.0.0.0	25	sampleA@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:47
[Edit]	oasetest_B	smtp	0.0.0.0	25	sampleB@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46
[Edit]	oasetest_C	smtp	0.0.0.0	25	sampleC@example.com	システム管理者	2020年4月6日13:46

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.5 画面説明\_トークン払い出し

## 機能説明

- ① OASEに登録済みのトークンの一覧
- ② 新規にトークンを作成するボタン

操作	トークン名	利用開始日	利用終了日	最終更新者	最終更新日時
	test_token	2021年 05月 19日 10:14		システム管理者	2021年 05月 19日 10:14

件数 1 表示する件数 50 / 1 ▲ ▼

新規トークン払い出し

Exastro Operation Autonomy Support Engine

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.6 画面説明\_ディシジョンテーブル

## 機能説明

- ① OASEに登録済のディシジョンテーブルの一覧
- ② ディシジョンテーブルファイルのダウンロードボタン
- ③ 新規追加画面に遷移し、ディシジョンテーブルを作成するボタン

The screenshot shows the 'Decision Table' list page. At the top, there is a navigation bar with tabs: Dashboard, ルール (Rules), システム (System), and 管理 (Management). On the right side of the header, there is a user profile and a 'New Addition' button. The main area has a table titled 'Decision Table'. The table has columns: 操作 (Operations), ディシジョンテーブル名 (Decision Table Name), 最終更新者 (Last Updated By), and 最終更新日時 (Last Updated Date). There are four rows of data: 'test' (updated by System Manager on May 21, 2021, 15:48), 'test\_01' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:10), 'test\_o2' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:10), and 'test\_03' (updated by System Manager on May 21, 2021, 14:11). The first column contains icons for search, download, and edit. A red box labeled ② highlights these icons. A red circle labeled ① is placed over the table header. A red circle labeled ③ is placed over the 'New Addition' button.

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
[Edit, Download, Search]	test	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48
[Edit, Download, Search]	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Edit, Download, Search]	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
[Edit, Download, Search]	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.7 画面説明\_ルール (1/2)

## 機能説明

- ① ディシジョンテーブルファイルを操作するボタン
- ② アップロードしたディシジョンテーブルファイルとそのステータスの一覧
- ③ ステージングからプロダクションへの適用ボタン

スクリーンショットは、Exastroの「ルール」ページの「ステージング適用ルール」セクションを示しています。画面には、操作、ディシジョンテーブル名、ルールファイル、運用ステータス、作業ステータス、最終更新者、最終更新日時などの列があります。各行には、データ操作用のアイコン（編集、削除、適用）が含まれています。上部メニューには「Dashboard」、「ルール」（選択）、「システム」、「管理」があります。右側には、ユーザー情報と「過去を含め表示」オプションがあります。

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
	test_02	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

POINT 各機能の詳細はマニュアルを参照してください

①でディシジョンテーブルファイルをステージング環境にアップロードしテストリクエストを実施の結果、運用可能なルールであると検証が完了した場合（②のステータス次第）、③の適用ボタンが有効になる。

# 1.7 画面説明\_ルール (2/2)

## 機能説明

- ① OASEにメッセージが飛んできたとき実際に運用されることが決定したルールの一覧

The screenshot shows the OASE interface with the following details:

**Top Navigation:** Dashboard, ルール (highlighted), システム, 管理, システム管理者

**Header Buttons:** テストリクエスト, ファイルを選択: ファイルが選択されていません, リロード, 過去を含め表示 (OFF)

**Staging Rule List (ステージング適用ルール):**

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test_03	mail_test_03.xlsx	検証完了	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:14
	test_o2	mail_test_02.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test_01	mail_test_01.xlsx	検証未実施	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 24日 19:13
	test	mail_test.xlsx	検証完了(プロダクション適用済み)	ステージング適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:47

**Production Rule List (プロダクション適用ルール):**

操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	適用ステータス	作業ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test	mail_test.xlsx	プロダクション適用	プロダクション適用完了	システム管理者	2021年 05月 21日 15:48

**Bottom Buttons:** 件数 4, 表示する件数 50, ページネーション, 検索ボックス, 過去を含め表示 (OFF)

**Footer:** 画面の自動更新 (OFF), リロード, サポート, Exastro Operation Autonomy Support Engine

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.8 画面説明\_リクエスト履歴

## 機能説明

### ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

The screenshot shows the 'Request History' page of the Exastro Operation Autonomy Support Engine. The top navigation bar includes 'Dashboard', 'ルール' (Rules), 'システム' (System), and '管理' (Management). A user icon labeled 'システム管理者' is also present. The main content area is titled 'リクエスト履歴' (Request History) and displays a table of matched rules. The table has columns: ルールマッチ状況 (Rule Match Status), リクエスト種別 (Request Type), ディシジョンテーブル名 (Decision Table Name), リクエスト受信日時 (Request Received Date and Time), イベント情報 (Event Information), イベント発生日時 (Event Occurrence Date and Time), and イベントシリアルNo. (Event Serial Number). A red box highlights the first row of the table, which corresponds to the point numbered ① in the title. The table contains 9 rows of data.

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
✓	ステージング環境	test_03	2021年5月24日19:14	{"EVENT_INFO": ["300"]}	2021年5月24日19:14	TOS_20210524101433062191_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月24日11:50	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210524025052939350_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:59	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521095902622695_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:45	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521094554755966_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日18:39	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521093935582732_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_00000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_00000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_00000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_00000

件数 9 表示する件数 50 / 1 / 1 ▲ ▼ ■

Exastro Operation Autonomy Support Engine

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

# 1.9 画面説明\_アクション履歴

## 機能説明

### ① ヒットしたルールとそのステータス一覧

The screenshot shows the 'Action History' list in the system. The table has columns: 状態 (Status), 操作 (Operation), ディジョンテーブル名 (Decision Table Name), ルール名 (Rule Name), アクション種別 (Action Type), 最終実行日時 (Last Execution Date), and 最終実行者 (Last Executor). Six rows are listed, all showing a green checkmark in the status column and 'ruleA' in the rule name column. The last row is highlighted with a red border.

状態	操作	ディジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:39	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 17:32	アクションドライバープロシージャ
✓	[Icons]	test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 16:12	アクションドライバープロシージャ

POINT

各機能の詳細はマニュアルを参照してください

## 2. シナリオ説明



## 2.1 本書のシナリオ

### OASEインストール後からアクション履歴が詰まるまでのシナリオ

#### 【実行前準備】

各種設定  
および  
ルールの登録

- 1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成
- 2 トークンの払い出し
- 3 ディシジョンテーブルの作成
- 4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作
- 5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- 6 テストリクエスト
- 7 プロダクション適用

#### 【実行操作】

メッセージ投入し  
ルールマッチング  
および  
アクションの実行

- 8 curlコマンドによるリクエスト送信
- 9 アクション実行結果の確認

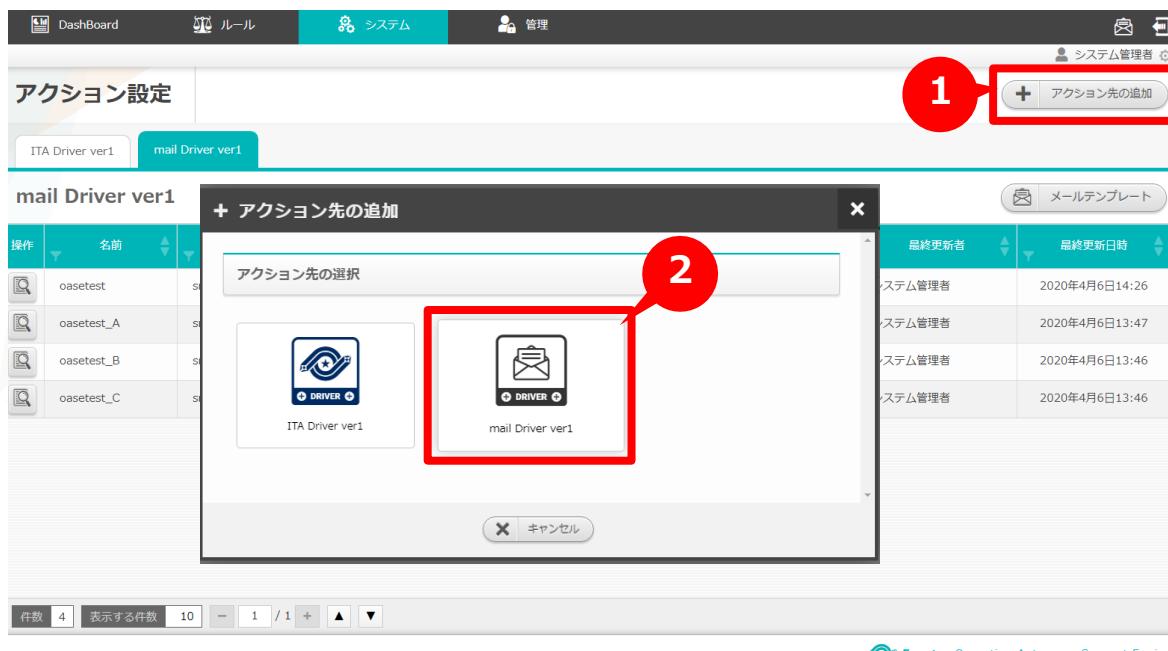
### 3. 実行前準備



# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(1/3)

## アクション先の追加

- ① 「アクション設定」画面上の「アクション先の追加」ボタンを押下
- ② 「アクション先の選択」欄で「mail Driver ver1」を選択



メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

- トーケンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルのアップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

※ドライバをインストールしていない場合、上記の画面は表示されません。

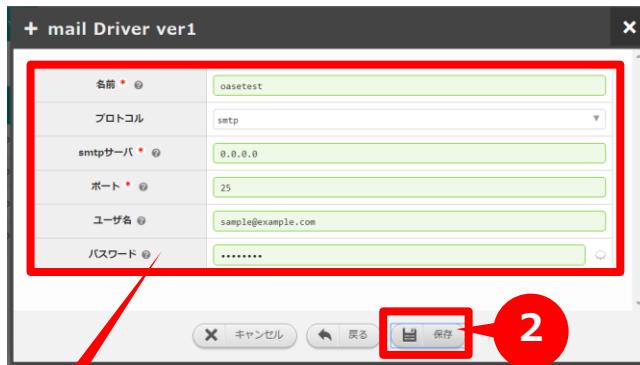
POINT

事前に[環境構築マニュアル -ドライバインストール編->](#)を参照のうえ  
メールドライバをインストールしてください。

### 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(2/3)

#### アクション先の設定

- ① 「mail Driver ver1」画面の必要情報を入力
- ② 「保存」ボタンを押下



##### POINT

「名前」は後述する  
[<ディシジョンテーブルファイル作成>](#)時に「どのアクション先に対してアクション実行するのか」指定するために必要です。

##### 1 以下の値を入力する

項目	設定値
名前	任意のアクション先名を入力
プロトコル	「smtp」または「smtp_auth」を選択
Smtp サーバ	プライベートIPもしくはグローバルIPを入力 ※前提としてSMTPサーバが用意されていること
ポート	通信に用いるポート番号を入力
ユーザ名	空白可、メールの送信元となるユーザ名を入力
パスワード	空白可、認証に必要なパスワードを入力

##### POINT

「ユーザ名」はメールの送信元として表示されます。

#### メールドライバの設定とメールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルのアップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによるリクエスト送信

アクション実行結果の確認

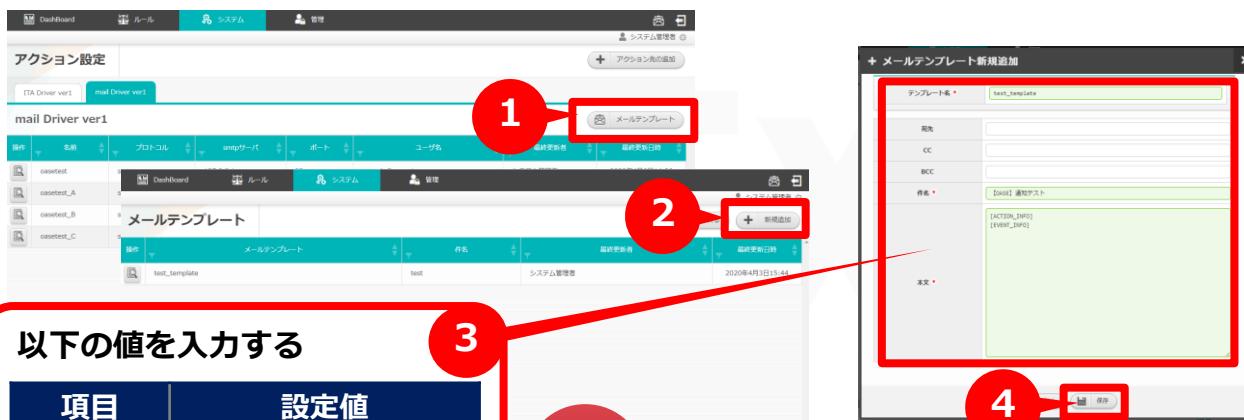
##### POINT

\* のつく項目は入力必須です。

# 3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成(3/3)

## メールテンプレートの作成

- ① 「メールテンプレート」ボタンを押下
- ② 「新規追加」ボタンを押下
- ③ 「メールテンプレート新規追加」画面で必要情報を入力
- ④ 「保存」ボタンを押下

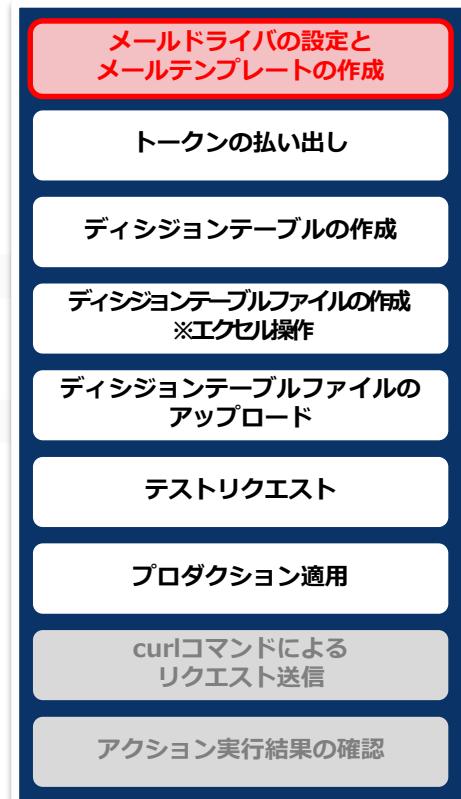


以下の値を入力する

項目	設定値
テンプレート名	任意の名称を入力
宛先	任意、空白可
CC	任意、空白可
BCC	任意、空白可
件名	任意の文字列を入力
本文	任意の文字列を入力

POINT

「テンプレート名」は、後述する  
[<ディシジョンテーブルファイルの作成>](#)時に、どのメールテンプレートを使用するか  
指定するために必要です。  
「本文」に[ACTION\_INFO]および  
[EVENT\_INFO]タグを使用することで、  
「リクエスト情報」および「イベント情報」  
が記載されたメールを受信することが  
可能です。



POINT \* のつく項目は  
入力必須です。

## 3.2 トークンの払い出し

### 新規トークンの払い出しを実施

- ① 「新規トークン払い出し」ボタンを押下
- ② 「新規トークン払い出し」画面で必要情報を入力
- ③ 「トークン払い出し」ボタンを押下
- ④ 「トークン」画面に表示されるトークンをコピーして保持する
- ⑤ 「閉じる」ボタンを押下



2 以下の値を入力する

項目	設定値
トークン名	任意の名称を入力
グループ別権限	システム管理者 : 権限あり

4

POINT

トークンは後述する[curlコマンドによるリクエスト送信](#)時に使用するため設定が必要です。

5

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

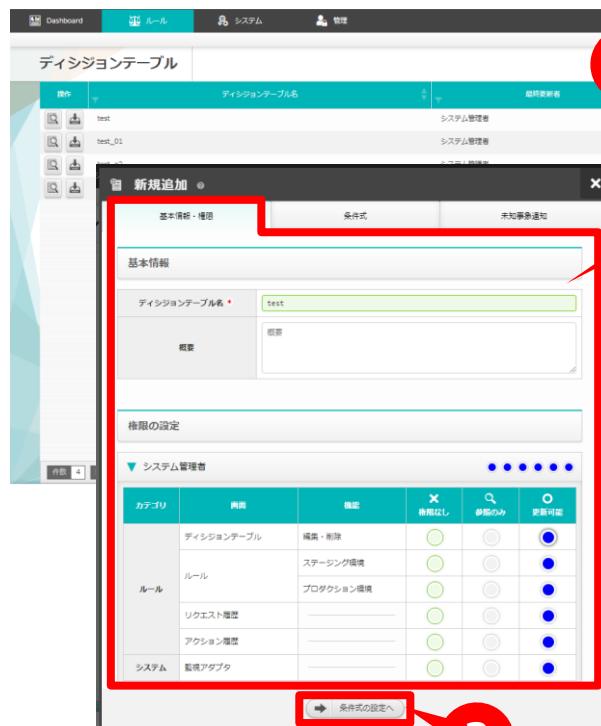
curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

### 3.3 ディシジョンテーブルの作成 (1/2)

#### ディシジョンテーブルの作成

- ① 「ディシジョンテーブル」画面の「新規追加」ボタンを押下
- ② 「新規追加」画面の「基本情報・権限」タブに必要情報を入力
- ③ 「条件式の設定へ」ボタンを押下



1

2

3

以下の値を入力する

#### 「基本情報・権限」タブ

項目	設定値
ディシジョン テーブル名	任意の文字列
権限の設定	システム管理者： 全て「更新可能」

#### POINT

「権限の設定」では最低でも1グループは必ず「更新可能」を設定してください。ディシジョンテーブルの更新ができなくなります。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

#### POINT

\* のつく項目は  
入力必須です。

### 3.3 ディシジョンテーブルの作成 (2/2)

#### ディシジョンテーブルの作成

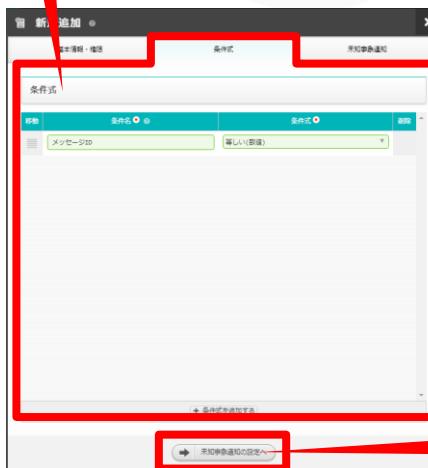
- ④ 「新規追加」画面の「条件式」タブに必要情報を入力
- ⑤ 「未知事象通知の設定へ」ボタンを押下
- ⑥ 「新規追加」画面の「未知事象通知」タブに必要情報を入力
- ⑦ 「保存」ボタンを押下

「条件式」タブ	
項目	設定値
条件名	任意の文字列
条件式	プルダウン選択

上記の値を入力する

「未知事象通知」タブ	
項目	設定値
未知事象通知	「通知しない」を選択

上記の値を入力する



設定した  
条件式には、後  
述するディシ  
ジョンテーブル  
ファイルの「条  
件部」で具体  
値を設定します。

5



7

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

\* のつく項目は  
入力必須です。

## 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(1/2)

### ディシジョンテーブルファイルのダウンロードおよび作成

- 「3.2 ディシジョンテーブルの作成」で作成したディシジョンテーブルの「ダウンロードボタン」を押し下しディシジョンテーブルファイルをダウンロードする。

操作	ディシジョンテーブル名	最終更新者	最終更新日時
	test	システム管理者	2021年 05月 21日 14:05
	test_01	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_o2	システム管理者	2021年 05月 21日 14:10
	test_03	システム管理者	2021年 05月 21日 14:11

#### POINT

ディシジョンテーブルファイルの名前は自動生成されます  
(例「id000000000000.xlsx」)。先述の「ディシジョンテーブル名」とは  
異なります。各項目の記述内容については次のページで説明します。

- メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作**
- ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

### 3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作(2/2)

#### ディシジョンテーブルファイルに以下の内容を記述作成

※具体的なディシジョンテーブルファイルの記述例は後述の[<A 付録 サンプル1>](#)を参照

ルール説明	メッセージID (等しい) (必須)	ルール名 (必須)	アクション種別 (必須)	アクションパラメータ情報 (必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可	アクション実行前パラメータ情報 (必須) ※ダブルクオーテーションは使用不可 ※不要の場合は「」を正直	ソート順 (必須)	停止回数 (必須)	上位回数 (必須)	作成回数 (必須)	生成回数 (必須)	大グループ (必須)	小グループ (必須)	有効日	無効日	
メッセージA	10001	ruleA	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x	1	1	0	0	X	X	X	X		
メッセージB	0	ruleB	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x,test template	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x,test template	1	1	0	0	X	X	X	X		
メッセージD	555	ruleD	mail(ver1)	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x,test template	MAIL_NAME=coester,MAIL_TO=sample@example.com,MAIL_CC=MAIL_BCC=MAIL_TEMPLATE=x,test template	1	1	0	0	X	X	X	X		

①コメント部	空白可。説明文など、自由なテキスト記述に使用可能。
②条件部	ルールがマッチングする条件を作成する。
③アクション部	<ul style="list-style-type: none"><li>ルール名ごとにどのようなアクションを実行するか設定可能。</li><li>アクションを実行してもよいか、事前承認メールを送る設定も可能。</li><li>「アクション種別」に指定可能なのは「アクション設定」画面で登録したドライバのみ。 (クリックスタートでは「mail Driver ver1」を指定)</li><li>アクション種別ごとに「アクションパラメータ情報」の書き方が異なるため要注意。</li></ul>
④アクション条件部	空白可。ルールを適用する期間の始まりから終わりまでを設定することが可能。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

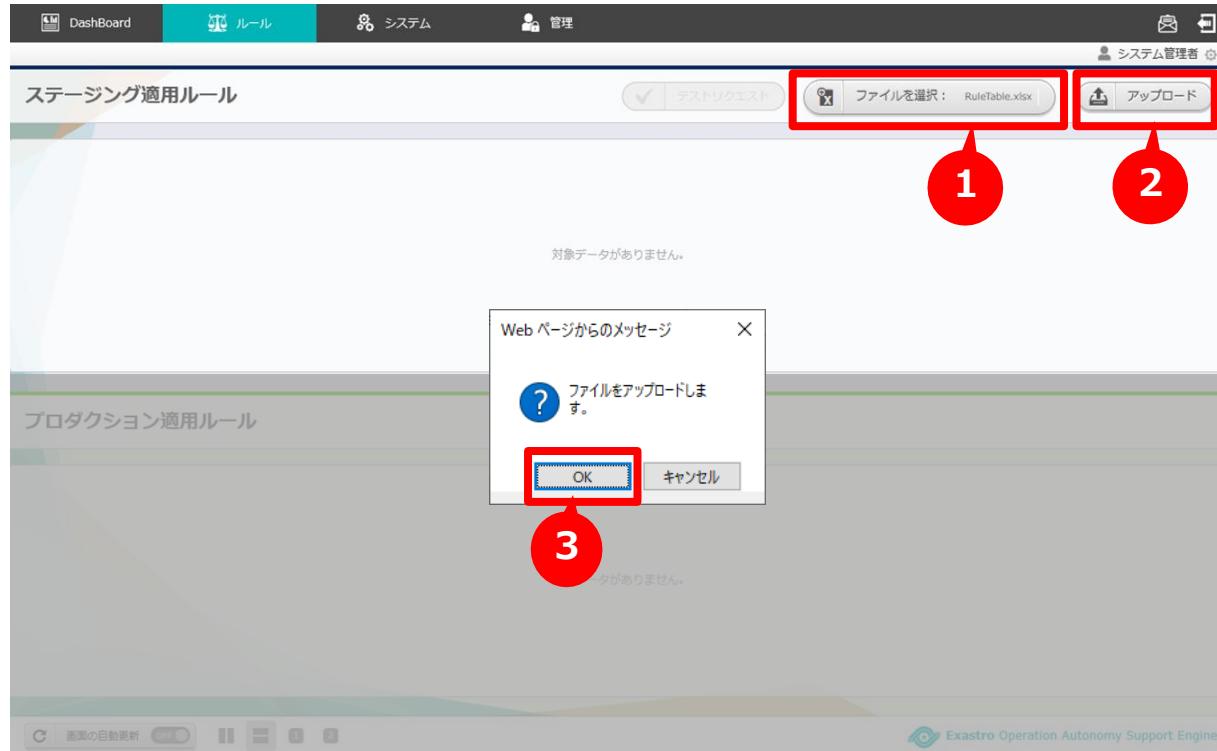
POINT

値の記述方法はディシジョンテーブルファイルの「記述例」シートを参照ください。  
ディシジョンテーブルファイルの更新後、任意の名称にファイル名を変更することができます。

# 3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード

## 【テストリクエストしたいディシジョンテーブルファイルを選ぶ】

- ① 「ルール」画面の「ファイルを選択」ボタンを押し作成したディシジョンテーブルファイルを選択
- ② 「アップロード」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



- メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード**
- テストリクエスト
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

# 3.6 テストリクエスト(1/3)

## ■ テストリクエスト対象の選択

- ① 「作業ステータス」欄が「ステージング適用完了」に遷移後「テストリクエスト」ボタンを押下
- ② 「ディシジョンテーブル」タブの「ディシジョンテーブル名選択」欄にて、テストしたいディシジョンテーブル名を選択
- ③ 「テストリクエスト設定へ」ボタンを押下

The screenshot shows the Exastro rule management interface. At the top, there are tabs for Dashboard, Rules (selected), System, and Management. A sidebar on the left has sections for Rule Types (Staging, Production, API), Rule Details, and Log.

In the main area, a table lists rules. One row is highlighted with a red box and labeled '1'. It shows the following details:

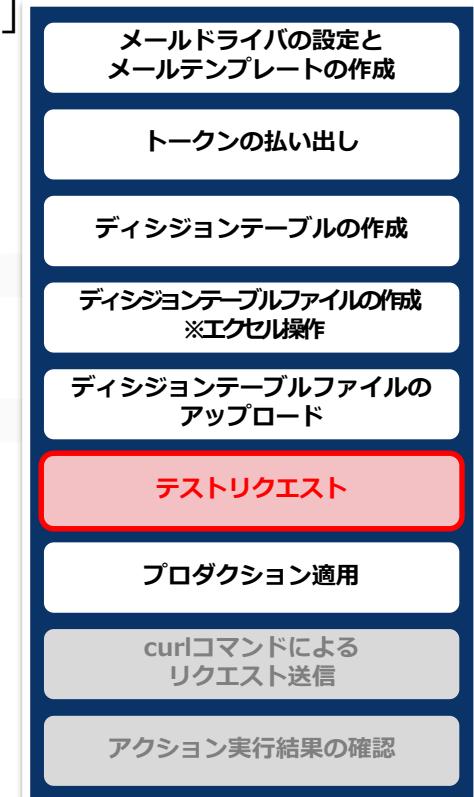
操作	ディシジョンテーブル名	ルールファイル	運用ステータス	最終更新者	最終更新日時
	test		ステージング適用完了	システム管理者	2021年05月19日 14:52

A red box highlights the 'Test Request' button at the top right of the main area, labeled '2'.

A modal window titled 'Test Request' is open. It contains a table with the following data:

ディシジョンテーブル名	設定	ログ
test		

The 'Test Request' button at the bottom of the modal is highlighted with a red box and labeled '3'.



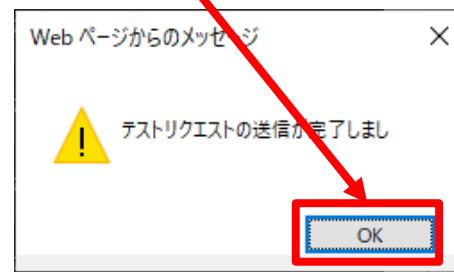
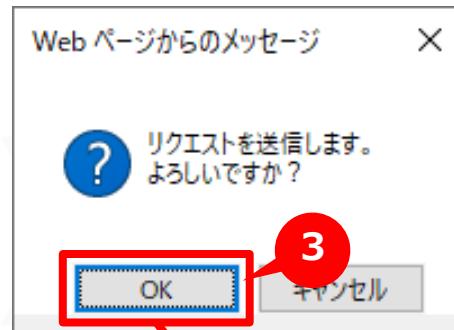
POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については  
[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(1\)ルール画面\(ステージング\)>](#)を参照ください。

## 3.6 テストリクエスト(2/3)

### ■ テストで値を入れて実行する

- ① 「設定」タブ内にて「単発テスト」タブの入力欄に、作成したルールに合致する値を入力
- ② 「実行」ボタンを押下
- ③ ダイアログの「OK」ボタンを押下



- メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成
- トークンの払い出し
- ディシジョンテーブルの作成
- ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作
- ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード
- テストリクエスト**
- プロダクション適用
- curlコマンドによる  
リクエスト送信
- アクション実行結果の確認

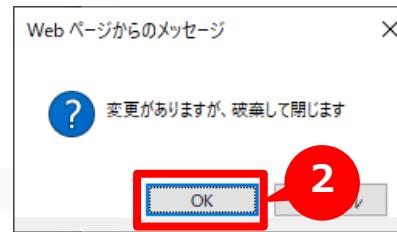
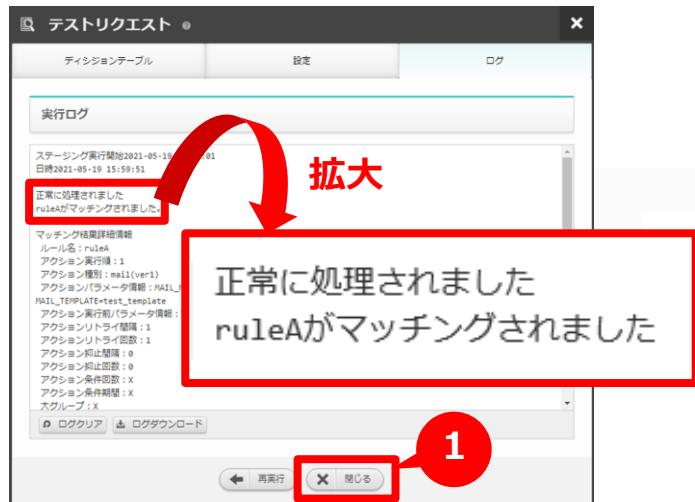
POINT

作成したディシジョンテーブルファイルの「条件部」に合致する値か否かテストします。

# 3.6 テストリクエスト(3/3)

## ルールが有効か確認する

- 「ログ」タブの「実行ログ」欄にてログを確認
  - 「閉じる」ボタンを押下
  - ダイアログの「OK」ボタンを押下

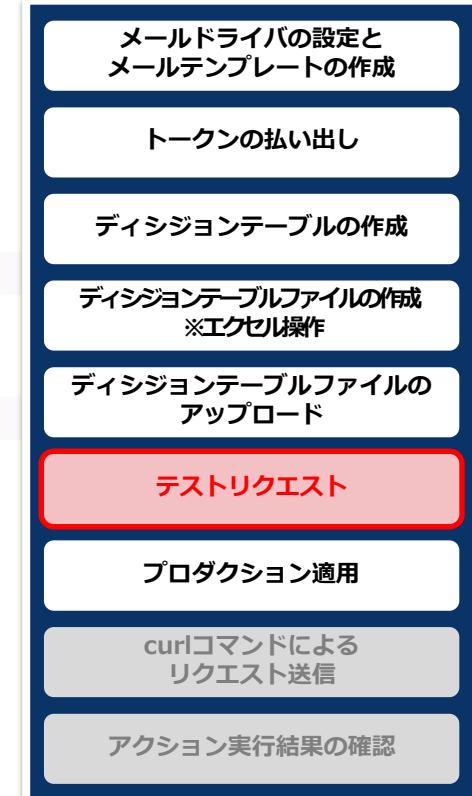
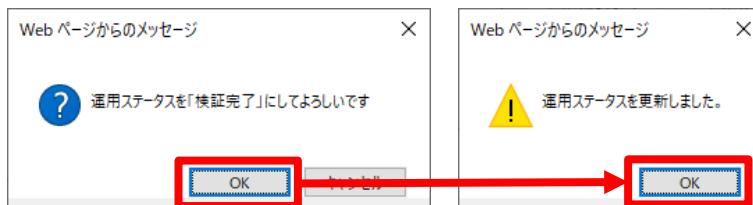


POINT

前述の<ディシジョンテーブルファイルの作成>で作成したルールに合致する場合、「実行ログ」欄に「正常に処理されました」「マッチングされました」と表示されます。

ルールがマッチングすると「運用ステータス」が次のステータスに移ります。

- 正常に処理されルールがマッチングした場合
  - ダイアログの「OK」ボタンを押下



### 3.7 プロダクション適用

#### 検証完了したルールを本番環境で使用できるようにする

- ルールを本番環境で使用できるようにするために「ステージング適用ルール」から「プロダクション適用ルール」に適用させる。

- 「ステージング適用ルール」の「運用ステータス」欄が「検証完了」に遷移していることを確認
- 「操作」欄の「適用ボタン」を押下
- ダイアログの「OK」ボタンを押下

The screenshot shows the rule management interface with several windows open:

- Main Window:** Shows a table with columns: 操作 (Operation), ディシジョンテーブル名 (Decision Table Name), ルールファイル (Rule File), 運用ステータス (Deployment Status), and 作業ステータス (Job Status). A row for 'test' has its 'Deployment Status' set to '検証完了' (Validation Complete) and its 'Job Status' is 'ステージング' (Staging). A red circle labeled '2' highlights the checked checkbox in the '操作' column.
- Validation Message:** A modal window titled 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web Page) with a blue question mark icon. It says 'プロダクション適用します。よろしいですか?' (Do you want to apply to production?). A red circle labeled '1' highlights the checked checkbox in the '操作' column of this window.
- Deployment Progress:** A modal window titled 'Web ページからのメッセージ' (Message from Web Page) with a yellow warning sign icon. It says 'プロダクション適用処理を開始しました' (Production application processing has started). A red circle labeled '3' highlights the 'OK' button in this window.
- Production Application Table:** A separate table titled 'プロダクション適用ルール' (Production Application Rule) with columns: 操作 (Operation), ルール種別 (Rule Type), ルールファイル (Rule File), 運用ステータス (Deployment Status), and 作業ステータス (Job Status). It shows a row for 'RuleTable.xlsx' with 'プロダクション適用' (Production Application) in the 'Deployment Status' column and 'プロダクション適用完了' (Production Application Complete) in the 'Job Status' column.

POINT

作業ステータスは5秒間隔で自動的に更新されます。作業ステータスの遷移については  
[<利用手順マニュアル -ルール画面編- \(2\)ルール画面\(プロダクション\)>](#)を参照ください。

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テストリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

## 4. 実行操作



## 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(1/2)

### メッセージを投入しプロダクション適用ルールとマッチングさせる

- ターミナルを開き、以下のコマンドをルールに合わせ書き換えたうえで実行する。

※具体的なcurlコマンドの使用例は後述の[付録 サンプル1](#)を参照

```
curl -X POST -k "https://<①ホスト名>
>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json"
-d "{\"$decisiontable\": \"$<②ディシジョンテーブル名>
>\", \"$requesttype\": \"$<③リクエスト種別>\", \"$eventdatetime\": \"$<④イ
ベント発生日時>\", \"$eventinfo\": [\"<⑤イベント情報>\"]}" -H
"Authorization: Bearer <⑥トークン>"
```

① ホスト名	有効なホスト名、IPアドレスを入力
② ディシジョンテーブル名	プロダクション適用済みのディシジョンテーブル名を入力
③ リクエスト種別	投入先「1:プロダクション」の「1」を入力 例) ,\"requesttype\": \"1\",
④ イベント発生日時	「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」形式で日付を入力 例) ,\"eventdatetime\": \"2020/01/01 01:01:01\",
⑤ イベント情報	リスト形式で指定　　例) [\"2\", \"あああ\"]
⑥ トークン	「トークン払い出し」画面で払い出したトークンを入力

メールドライバの設定と  
メールテンプレートの作成

トークンの払い出し

ディシジョンテーブルの作成

ディシジョンテーブルファイルの作成  
※エクセル操作

ディシジョンテーブルファイルの  
アップロード

テスクリクエスト

プロダクション適用

curlコマンドによる  
リクエスト送信

アクション実行結果の確認

POINT

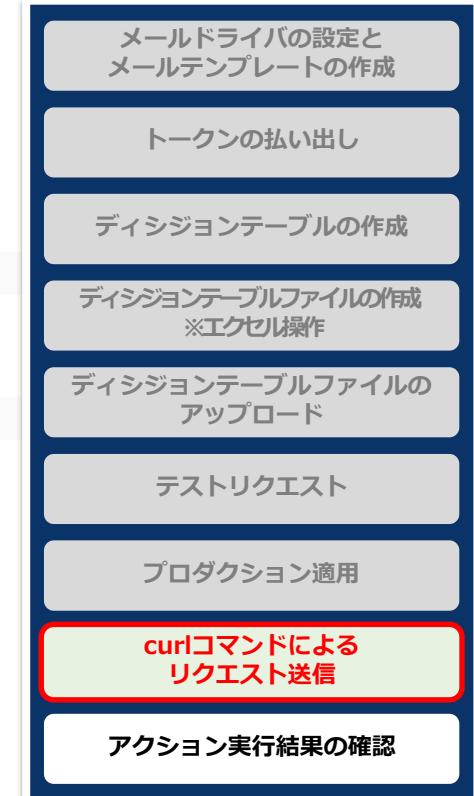
HTTPSリクエストの詳細については[RestAPI機能 利用マニュアル](#)を参照してください。

## 4.1 curlコマンドによるリクエスト送信(2/2)

### 「リクエスト履歴」画面を確認

- curlコマンドでパラメータを指定しリクエスト送信した履歴が追加される。  
※ 「リクエスト履歴」画面で表示する項目数は変更可能

ルールマッチ状況	リクエスト種別	ディシジョンテーブル名	リクエスト受信日時	イベント情報	イベント発生日時	イベントシリアルNo.
⚙️	プロダクション環境	test	2021年5月21日17:32	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521083209463771_000000
✓	プロダクション環境	test	2021年5月21日16:11	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2018年12月13日15:16	TOS_20210521071156018059_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日16:01	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日16:01	TOS_20210521070136467024_000000
✓	ステージング環境	test	2021年5月21日15:46	{"EVENT_INFO": ["10001"]}	2021年5月21日15:45	TOS_20210521064605006700_000000



## 4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認

### アクション実行

- ルールマッチした場合、実行前準備で設定したとおりアクションが実行（メール通知）され、「アクション履歴」画面で結果が確認できる。
- 前述した<ディシジョンテーブルファイルの作成>のアクション部にて設定した内容でアクションが実行される（mail Driver で指定したとおりメールが通知される）。

### メール通知

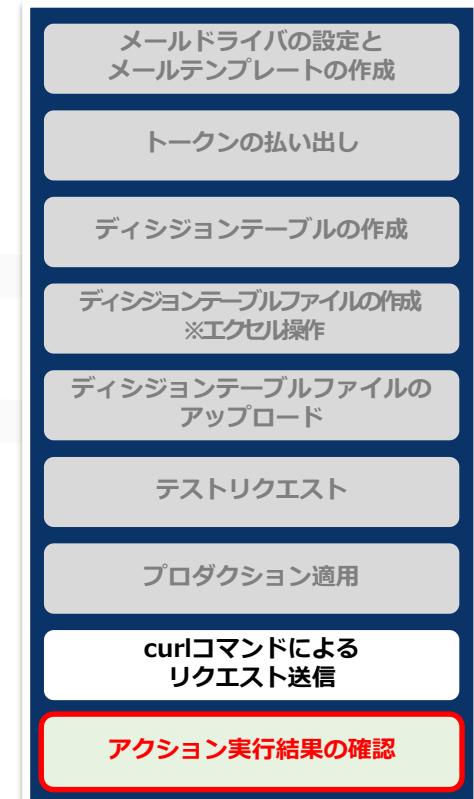
- 前述した<メールドライバの設定とメールテンプレートの作成>で設定した件名・本文のメールが届く。

### アクション履歴

- ルールマッチングし実行されたルールが「アクション履歴」画面に表示されていることを確認する。

The screenshot shows the Exastro UI with the 'Action History' tab selected. The table displays three entries from the 'test' decision table, each corresponding to a successful execution of ruleA with the action mail(ver1) on May 24, 2021, at 11:51, performed by the Action Driver/Proーシャ.

状態	操作	ディシジョンテーブル名	ルール名	アクション種別	最終実行日時	最終実行者
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 24日 11:51	アクションドライバ/Proーシャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:59	アクションドライバ/Proーシャ
✓		test	ruleA	mail(ver1)	2021年 05月 21日 18:45	アクションドライバ/Proーシャ



# A 付録



# サンプル1(1/4)

## サンプル値を入力しOASEを実行する

- 「メッセージID：10001」という情報をOASEが受け取った時、「件名：【OASE】通知テスト」「本文：[リクエスト情報][イベント情報]」という内容のメールが送信されるアクションを実行させたい

### 【実行前準備】

#### ① 「アクション設定」画面

- 「mail Driver ver1」を用意する

名前	oasetest
smtpサーバ	0.0.0.0
ユーザ名	sample@example.com
パスワード	(空白)

(他、必要情報を登録)

- 「メールテンプレート」を作成する

テンプレート名	test_template
件名	【OASE】通知テスト
本文	[ACTION_INFO] [EVENT_INFO]

#### ② 「トークン払い出し」画面

- curlコマンドによるリクエスト送信時に必要なトークンを用意する

トークン名 test\_token

(他、必要情報を登録)

POINT

本書内

[<3.1 メールドライバの設定とメールテンプレートの作成>](#)および  
[<3.2 トークンの払い出し>](#)

の範囲です。

# サンプル1(2/4)

## ② 「ディシジョンテーブル」画面

- 「メッセージID」が合致条件となるルールを作成する

ディシジョンテーブル名	test
権限の設定（システム管理者）	全て「更新可能」
条件名	メッセージID
条件式	等しい(数値)

POINT

本書内

[<3.3 ディシジョンテーブルの作成>](#)および[<3.4 ディシジョンテーブルファイルの作成 ※エクセル操作>](#)の範囲です。

## ③ 「ディシジョンテーブル」ファイル

- ディシジョンテーブルファイルをリネームして保存する

ファイル名 mail\_test.xlsx

- 「メッセージID : 10001」がヒットするルールを作成する  
※赤字箇所はご変更ください。

メッセージID（等しい(数値)）	10001
アクション種別	mail(ver1)
アクションパラメータ情報	MAIL_NAME=oasetest,MAIL_TO=<受信可能なメールアドレス>,MAIL_CC=,MAIL_BCC=,MAIL_TEMPLATE=test_template

(他、ディシジョンテーブルファイルの「シート：記述例」を参考に必要情報を登録)

# サンプル1(3/4)

## ④ 「ルール（ステージング適用ルール）」画面

- 作成したディシジョンテーブルファイルをアップロードする

ファイルを選択

mail\_test.xlsx

## ⑤ 「テストリクエスト」画面

- アップロードしたディシジョンテーブルファイルにリクエスト「メッセージID：10001」が来た場合ルールがマッチングするかテストする

ディシジョンテーブル名選択

test

メッセージID

10001

POINT

本書内 [<3.5 ディシジョンテーブルファイルのアップロード>](#)  
および[<3.6 テストリクエスト>](#) の範囲です。

# サンプル1(4/4)

## 【実行操作】

### ⑥ターミナル操作 (Linuxサーバ)

用意したルールに対しcurlコマンドでリクエストを投げる  
※赤字箇所はご変更ください。

```
curl -X POST -k "https://<HostName>/oase_web/event/event/eventsrequest" -H "accept: application/json" -d "{$decisionable": "test", "requesttype": "1", "eventdatetime": "2020/01/01 01:01:01", "eventinfo": ["10001"]}" -H "Authorization: Bearer <Access_Token>"
```

### ⑦メール通知

右記情報の  
メールが  
届いたことを  
確認する

件名	【OASE通知テスト】
本文	[リクエスト情報] トレースID ディシジョンテーブル名 リクエストユーザ リクエストサーバ  [イベント情報] イベント発生日時 条件名 メッセージID

A screenshot of an email notification titled "【OASE通知テスト】". The email header shows the recipient as "sample@example.com" and the subject as "[OASE]通知テスト". The body of the email contains the following text:

本メールは、『Operation Autonomy Support Engine』より  
自動送信しています。

=====

**メール通知  
イメージ**

[リクエスト情報]  
イベントシリアル No. :  
ディシジョンテーブル名 :  
リクエストユーザ :  
リクエストサーバ :  
  
[イベント情報]  
イベント発生日時 :  
条件名 =  
メッセージ ID =

POINT

本書内 [<4.1 curlコマンドによるリクエスト送信>](#)および  
[<4.2 アクション実行結果（アクション履歴）の確認>](#)の範囲です。



**Exastro**